



# Q 十日町市&湯沢町の境界問題

たか はし まさ き  
高橋 政 喜 (文責)



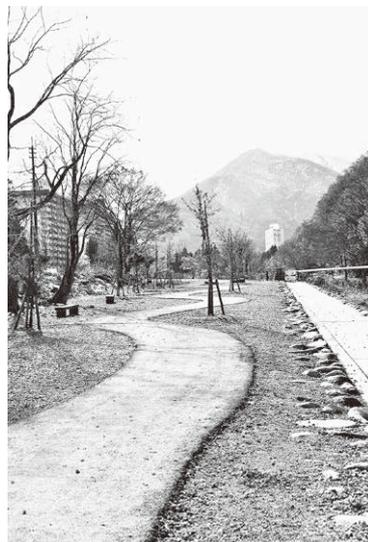
## A 約35年費やし最高裁で判決

**質問** 境界問題は、平成2年の交渉が始まり、県の調停・東京高裁・最高裁迄約35年の境界問題も結審した。その最高裁の内容。調書(決定)「決定日 令和7年10月 日」「裁判所・最高裁判所第一小法廷」「当事者等・原告人兼申立人十日町市」「被告人兼相手方湯沢町」裁判官全員一致の意見で次のとおり決定。

「主文」1 本件上告を却下する。2 本件を上告審として受理しない。3 上告費用及び申立費用は上告人兼申立人の負担とする。第2理由1上告について、民事事件について最高裁判所に上告することが許されるのは民法312条1項又は2項所定の場合に限られるところ、本件上告の理由は、理由の不備・食違いをいうが、その実質は事実誤認又は単なる法令違反を主張するものであって、明らかに上記各項に規定する事由に該当しない。2 上告受理申立てについて。本件申立ての理由によれば、本件は民法



マイクロフィルム閲覧機



万年橋遊歩道

318条1項により受理すべきものとは認められない。本件に関わった職員に一言。

**答弁** 長年の懸案であった境界未確定の解消が図られ、本件に関わった担当職員多くの関係者に御礼申し上げます。

**質問** 「湯沢町雪国館」には、町の歴史等に関する資料がマイクロフィルムに保存されており、劣化の恐れが懸念されますがマイクロフィルムをデジタルデータに変換し情報の活用と保全に思うが何う。

資料館の  
マイクロフィルム  
について

**答弁** 湯沢町も、今後のデジタルデータによるバックアップは必要、保存しているマイクロフィルムの状態が良いうちに順次デジタルデータ化を進めて行く。

**質問** トピックス生活の「国民健康保険・後期高齢者医療保険からのお知らせ」「ジェネリック医薬品を上手に利用」どういう意味なのか何う。湯沢町の後発品の使用率が高いのに。

**答弁** 国保も湯沢病院の経営も、効率化を図れるところはしっかりと図り、その分

広報ゆざわに  
ついて

のサービスを町民に。

**町長4期目の  
選挙資料について**

**質問** 今回の大項目に「変化への挑戦」又「重点政策」の中に、すべての人に優しい町を目指す。JR越後湯沢駅東口のエレベーター設置や駅前トイレなどバリアフリー化を進めた。・魚野川周辺整備を更に進める。この2点は町長の提案か何う。

**答弁** 駅東口エレベーター設置は私の考えの下で指示を行い、整備を進めたと思っっている。魚野川周辺の整備とは万年橋、駐車場、公衆トイレの整備です。